

会 議 録 (1)

会議の名称	平成28年度 第1回飯能市郷土館協議会
開催日時	平成28年8月26日 午前10時00分から午後12時00分
開催場所	飯能市郷土館 学習研修室
議長氏名	加藤栄子
出席委員	井上淳治 加藤栄子 栗原慶子 馬場憲一 野村正弘 伊藤誠 平良宣子
欠席委員	小槻成克 新井均 杉田和美
説明者の職員	なし
傍聴者の数	0人
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員 職 氏 名	館長 柳戸信吾 主幹 尾崎泰弘 主査 村上達哉 主事 宮島花陽乃

会 議 録 (2)

議事の概要 (経過) ・決定事項

協議事項

- (1) 平成27年度事業報告について
 - ・会議資料 (資料2) に基づいて説明した。
- (2) 平成28年度事業経過と今後の予定について
 - ・会議資料 (資料3) に基づいて説明した。
- (3) 郷土館の使命策定について
 - ・会議資料 (資料4) に基づいて説明した。
- (4) 常設展示改装展示構想 (案) について
 - ・会議資料 (資料5) に基づいて説明した。
- (5) その他

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
	午前 10 時 開会
主幹	<p>1 開会</p> <p>ただいまより、平成 28 年度第 1 回郷土館協議会を開会いたします。本日は、小槻委員、杉田委員、新井委員よりご欠席の連絡をいただいております。よろしくお祈いします。</p> <p>最初に当館の柳戸館長よりごあいさつ申し上げます。</p>
館長	<p>暑い日が続き、台風も来ていますが、今のところ当館の被害は無い状況です。協議会も 7 月から新体制となり議事も色々ありますが、どうぞよろしくお祈いします。</p>
主幹	<p>2 任命書、委嘱状交付</p> <p>では、任命書、委嘱状の交付をさせていただきます。 (柳戸館長より任命書、委嘱状の交付)</p> <p>【自己紹介】</p> <p>職員</p> <p>各委員(名簿順に行う)</p>
主幹	<p>3 会長・副会長の選出について</p> <p>では会長・副会長の選出について、館長よろしくお祈いします。</p>
館長	<p>郷土館条例第 13 条第 2 項では委員の互選で決めることになってはいますが、まづ会長からご選出をお祈いします。ご意見ある方いらっしゃいますか？</p>
委員	<p>長年副会長をつとめてこられた加藤さんが適任かと思ひます。</p>
委員	<p>異議なしです。</p>
館長	<p>加藤さんにお祈いしたいと思ひます。</p>
委員	<p>会長になるような器ではないのですが、私でよければお引き受けいたします。</p>
館長	<p>続きまして副会長についてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>女性で長年活躍されている方ということで、栗原さんにお祈いできないでしょうか。</p>

委員	私は専門家というわけではありませんし、少し荷が重い気がします。他に適任者はいないでしょうか。
委員	市民目線、という点からもやはり栗原さんが良いと思います。
館長	栗原さんでいかがでしょうか。
委員	では、私でよければお受けいたします。
館長	それでは今期は加藤会長、栗原副会長でお願いします。議事の前に、加藤会長と栗原副会長から御挨拶をお願いします。
会長	よろしくお願いいいたします。みなさまからご指導いただきながらつとめたいと思います。協議会には主婦目線で参加し、ミッション策定などもこのような目線から関わっていきたいと考えています。副会長に栗原さんが就いてくださりとても心強いです。柳澤さんがいつもいてくださるつもりでやりたいです。
副会長	郷土館がリニューアルするとのことで、郷土館が出来た頃のワクワク感を思い出しました。子どもたちのためになる、次の世代へつながるリニューアルになれば良いと思います。また、市民のあいだでも盛り上がれば更に良いと思います。
主幹	4 協議事項 では、協議事項にうつります。
議長	それでは、平成 27 年度主な事業の経過及び今後の予定について、事務局から報告をお願いします。
館長	(1) 平成 27 年度事業結果報告について 私の方から、事業報告の概要について、ご報告をさせていただきます。資料 2 をご覧ください。 (資料 2 に基づいて説明)
議長	ここまでで何か質問はありますか。平成 28 年度の事業経過とも併せて質疑を受け付けたいと思いますので、引き続き平成 28 年度の事業経過についてお願いいたします。
館長	(2) 平成 28 年度事業経過について それでは説明させていただきます。 (資料 3 に基づいて説明) 野村ゼミナールの実習展示については、野村先生から補足をお願いいたします

委員	<p>す。</p> <p>今年は織物の展示をやらせていただきました。今までと変わったところは無かったのですが、新聞4社5件、テレビ・ラジオ各1件の取材を受けました。この展示が終わると、学生が自分たちだけで展示を行ったという実績にもなり、就職という点でも有意義な活動になっています。</p>
議長	<p>野村ゼミナール展示の評判は他の方からも聞いています。触れたり着られたり、体験できるのも良かったし、学生さんのリメイクも良かったと言っていました。飯能大島紬は男性の織物と聞いていますが、女性の織物も今後取り上げると良いと思います。</p> <p>ここまでで何か質問はございますか。今年度のこれからの予定も書かれていますが、そちらについての質問でも構いません。</p>
議長	<p>無ければ(3)に進みたいと思います。</p>
主幹	<p>(3)郷土館の使命策定について それでは説明させていただきます。 (資料4に基づいて説明)</p>
議長	<p>このことについては既に市民学芸員のみなさまから意見聴取済みとのことですが、この場ではみなさまからご意見いただければと思います。</p> <p>指定管理者制度に関しては、県の博物館では収蔵庫の出入りに制限がかけられて職員以外立ち入りが出来なくなっているの、調査研究に弊害が出ていると聞いています。</p> <p>先日の文化新聞にも指定管理者の問題が掲載されており、市の方の援助と自主努力で成り立っている博物館が指定管理になってしまっても良いのか危惧するところもある。</p> <p>活動がしやすく、市民に慕われる館になるよう、ご意見をいただきたいです。野村先生いかがでしょうか。</p>
委員	<p>全国的に見ると、指定管理者になっているところもありますが、弊害がどこでも出てきています。中には直営に戻しているところもあります。企業の方でも、指定管理に手を挙げなくなっています。</p> <p>指定管理は、貸出施設には向いていますが、自主活動するところでは難しいです。郷土館も、直営であることのメリットを出していった方が良いと思います。</p> <p>狭山市立博物館では、合意が得られないまま指定管理者が決ってしまったという経緯があり、うまくいっているかどうかというと中々難しいです。埼玉県立川の博物館は、あまりうまくいっていません。指定管理者に調査と研究をやらせておらず、指定管理者は収蔵庫に入れません。このような状況では教育活動にも限</p>

	<p>界があります。入間市も検討しているようですが、すぐに決まるわけではなさそうです。先ほど申し上げたように直営に戻している館もあるので、そこを調べ、なぜ直営に戻したのかを示すのも良いでしょう。</p> <p>飯能市郷土館がここにあることのメリット、それによって何が良くなるかを押し出していく必要があります。フォーラム機能により市の政策に影響を与えているとか、少子高齢化への対応、博学連携などが挙げられます。博学連携は、学校の下請けではなくお互いが連携して青少年を育てていくというようになってきています。縦割りの問題もありますが、やはり博学連携は切り離せません。</p> <p>また、公民館・図書館・博物館の連携もやっていくべきでしょう。</p> <p>群馬県立自然史博物館の例でもそうでしたが、博物館は必ず右肩下がりになる傾向があります。同館では、最初のスタッフに危機感がありませんでした。学校との連携に力を入れ、東京都や観光業者へのアピールなどを行い、やっと芽が出てきました。右肩下がり傾向を止めるためにも、長いスパンでやることと短いスパンでやることを切り分けて考えていく必要があります。</p>
議長	<p>ありがとうございます。馬場先生、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>どこにもある問題と同時に、飯能ならではの問題もあるのかなと思います。</p> <p>観光と自然が求められているという状況がわかりましたので、博物館の存在価値をしっかりと押さえていく必要があります。</p> <p>飯能市郷土館において歴史というのは重要な位置を占めていますし、条例でもその部分がうたわれ、寧ろ自然はありません。自然にシフトしていくとなると、条例には無いのにやっている、ということになるのではと思いました。</p> <p>博学連携のほかにも、ユニバーサルデザインとか、ソーシャルインクルージョン、高齢者、外国人への配慮なども入れられると良いです。</p> <p>館だけで完結するのではなく、地域との連携を深めていかなければなりません。琵琶湖博物館では「フィールドの誘いとなる博物館」とありますが、飯能の場合も自然あり観光ありということで、外へ誘うという視点が必要だと感じました。</p>
委員	<p>まずは、この館には大変素晴らしい資料があると思います。ただ、博物館の評価をしなければならぬということで、これは中々難しい問題です。</p> <p>「何を評価するのか」を考え、評価から逆算して必要なミッションを考えること、また、色々な意見が出ていると思いますが、声を発している方たちの階層はどうなっているのかを考えることが必要だと思います。</p> <p>お客様のニーズがどこにあるのか、またどういう階層かによって広報の方法も違ってきます。客層を分析し、様々な階層の声に応えるとともに、新たな層の開拓も目指して行けば、郷土館を知らないという人は減るのではないのでしょうか。</p> <p>リピーターに関していえば、たとえばリピーターが多いあけぼの子どもの森公園の場合を考えると、その理由として木の感触が素晴らしいということと居心地</p>

委員	<p>の良さが挙げられると思います。居心地の良さ、飽きさせない何か、それが木の感じなのではないでしょうか。ミッションというより展示改装の話になってしまいますが、郷土館も居心地の良さや飽きさせない展示にファンが付き、「また来たい」と思ってもらえると良いのではと考えています。</p> <p>メリットとしてあがっている職員4人が学芸員、というのは強みでもあり弱みでもあると思います。プロデューサー役の人がおらず、専門性を100パーセント活かしてきれていないのではないのでしょうか。どこかでそれを補う必要があると思います。</p> <p>観光は後からついてくる、という形で考えても良いのではないのでしょうか。良い活動、良い展示をしていけば、人はついてきます。良い活動の結果として人が増え、結果的に観光に寄与するのが良いと思います。観光に走る必要は無いと思います。</p>
委員	<p>学校では「出かける学芸員」として活動しているという認識を持っています。また、専門家の集団、という位置づけも強くなってきています。10年前とは随分違った認識になってきているので、そこをのばしてもらいたいと考えています。</p> <p>地域学習の入口が郷土館なのですが、子どもがリピーターになっていません。ITなども活用して、子どもが直接聞き、それに答えてもらえるようなシステムも考えています。顔見知りになった人に聞く、というスタイルが出来るとおおと思います。それが出来ると学習の段階やレベルが1つアップします。</p> <p>上の学年の方が詳しいことまで質問できるので、3年生で終わったところでも上の学年になっても聞けるように個人的な繋がりを強くしたい。高学年とのつながりの強化を考えています。</p>
委員	<p>私は開館当時から来ていますが、友の会があったころは会員が会費を払いに来ていました。しかし現在はその方たちが高齢化し、働く世代の方は忙しすぎてこういうところに目が行きません。</p> <p>以前横浜市中区の方たちがじゃがいもの収穫にいらした際に、「とても懐かしい」と言っていました。横浜が地元の方というのはほとんどいなくて、(飯能の風景が)懐かしい、ということみたいです。ですので、自然の要素が加わった博物館は良いと思うし、ほっとするところがあっても良いと思います。</p> <p>一般の母親世代からすると、筏を見てもしかたない、変わらない展示を見てもしかたないという気がします。来館して「あっ」と思うようなものがなくなってきて、郷土館が忘れられてきた、という感じがします。</p> <p>もう少し若い世代や、子どもたちが来たいと思うような仕掛けが必要だろうと思います。まゆ玉作りや竹の水鉄砲で遊ぼう！に参加すると、子どもたちは目が輝いて帰ってきます。しかし、館で行くと人数が限られてしまうため、出前講座</p>

議長	<p>に来ていただけるとありがたいです。人数が少ない学芸員が出るのは大変なので、市民学芸員がそうした部分を補えるようにレベルアップしたらいいと思います。</p> <p>最近では博物館の経営について叫ばれることがあり、大変だと思います。確かに知りたいものをすぐに見せてくれる、答えてくれるという事も大事ですが、さらにビジターセンター機能も増やしてという事になると、本来の調査・研究が疎かになってしまわないか心配です。</p> <p>リピーターを増やすという事であれば、1年ごとにターゲットとする層を決めて、特化した部分で増やしていくのが良いのではないのでしょうか。</p> <p>今日はミッションについて具体的に決めてしまう、という事ではないのですよね。</p>
主幹	はい。
議長	ではみなさまのお話をふまえて、(4)についてお願いいたします。
主幹	<p>(4)常設展示改装展示構想(案)について それでは説明させていただきます。 (資料5に基づいて説明)</p>
議長	<p>楽しみな部分、わかりやすくなる部分がありそうですね。</p> <p>床面も活用されるようなので、期待しています。カラーリングと床面を上手く使って、コーナー分けをしてもらえると良いと思います。</p> <p>私は台地の地区に住んでいますが、このような地区では、岩沢の湧水めぐりをすると人気があります。地形の断面のようなものが見せてもらえると、よりわかりやすくなります。ほかに、入間馬車鉄道を意識している市民もたくさんいます。また、杉苗生産や宮沢湖の工事などもありますし、水と生活がテーマになると思います。あとは、食について聞き取りをしようと思っても、中々土地のことを聞けない、という状況があります。ですので、展示でなくても構わないので情報が貰えると良いと思います。</p> <p>みなさまお住いの地区のことでも良いので、何かご意見などはありますか。</p>
主幹	補足しますと、展示室全体は地区ごとに分けられますが、それぞれのコーナーの中では年代順に展示する予定です。
委員	この夏、リニューアルした博物館をいくつも見てきました。どこもレールキャプションを採用し、引き出し展示を設置していました。引き出しが体験にあたるかどうかは検討の余地がありますが、引き出すわくわく感があります。子どもたちが楽しめる施設ならば引っ張り出す方式の展示も良いと思います。

館長	<p>構想を練って作り上げる展示も必要ですが、タイムリーな情報を出せる、という事も大事だと思います。</p> <p>また、ICTについてはメンテナンスに力を入れずに効果を上げる手法もあるので、スカイプを使って出張授業などをする、というのも良いでしょう。博物館が外に赴くというのが大事であり、お客を待つという時代は終わっています。</p> <p>自然コーナーについてはいかがですか。</p>
委員	<p>今見られる動植物のパネルは良いと思います。ここは透明か網にして、奥の展示が見えるようにしたほうが良いです。</p> <p>問題は照明です。天井の装置が無いので難しいです。リニューアルした長岡市の博物館を見ましたが、明るさをかなりあげてありました。今はどこも照明がとて明るくなっていて、薄暗いというイメージはありません。</p> <p>あとは、コーナーカラー、コーナーサイン、色彩計画をしっかりとやってください。途中から見ても明確にわかるようにした方が良いです。</p>
議長	<p>確かに、杉原千畝の博物館がリニューアルしたので行きましたが、ここも明るかったです。照明はLEDで、アクリルを使って館内が全部見えるようになっていました。年を取ってくると、やっぱり暗いと見えにくくなります。</p>
委員	<p>博物館は決心しないと来ません。今回はここを見ていく、次はここを見る、というように少しずつ見られると良いので、コーナーで完結しているのは良いと思います。</p> <p>新しい発見がたくさんある、そういう展示室が良いです。</p>
議長	<p>飯能戦争は市外の方も興味を持っています。絹織物も手織りと工業品と両方あるので、両方を活用したいですね。それとやはり木の香りがあるとほっとします。</p> <p>郷土館にたくさん人が来るのは嬉しいですが、駐車場との関係は気になります。市民会館の利用者は郷土館の駐車場にとめられるのに、こちらの利用者は市民会館にとめられないということもありました。駐車場の相互利用をもう少し緩やかにしてもらいたいです。そうすればもっと車で来やすくなります。</p> <p>他にも、林業センターとの相互利用なども出来ると良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>新潟県十日町市の越後大地の芸術祭に行ってきました。周辺で3年に1度大きな芸術祭をやっていて拠点施設をまわるのですが、2日間ではまわりきれなかったほどのボリューム、施設、内容でした。このような感じで、郷土館の中に納められない飯能の良さや史跡と郷土館を連携してはいかがでしょうか。そこへ行ったら郷土館へ行きたくなるような説明などがあると、来館者も増えるのではないのでしょうか。</p>

委員	<p>展示室だけではなく入口のサイン、マットからイメージを作り上げて、展示を作っていくことも必要だと思います。</p> <p>展示室から現地へ足を運ぶための導入にもなると良いです。コアからサテライトへ飛べるようなサインや視点が、フランスのエコミュゼにはありました。</p> <p>名栗にも展示室がありますが、そこそこだけで完結するのではなく、フィールドへの入り口を考えた方が良いでしょう。</p> <p>ビジターセンター的な機能についてですが、展示をする時にその場所が市の中のどこにあるのかがわかっていないと市外の人にはわかりません。地域性と、地理的な関係性を示す必要があると思います。</p> <p>それと、リニューアルするのなら名前を変えてはいかがでしょうか。郷土館だと館をイメージできません。バスの運転手さんも、市民会館は知っていても郷土館は知りませんでした。ちゃんと博物館であることを言った方が良いでしょう。ただ、博物館だと堅くなってしまうので、ミュージアムなどの呼称に変えてはどうでしょう。</p>
議長	<p>確かに、全てを網羅する博物館の名前が郷土館だとちょっとどうかと思います。愛称があると良いと思います。</p>
委員	<p>郷土館だと少しイメージが違うかもしれません。</p>
議長	<p>他に何かございますか。無ければ「(5)その他」をお願いいたします。</p>
館長	<p>今後の予定ですが、ミッションは次回に案を出します。リニューアルについては9月に設計開始です。何かお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。</p>
議長	<p>他に何かありますか。では、これで議事を終了いたします。</p>
主幹	<p>5 閉会</p> <p>長時間にわたり、ご審議をありがとうございました。では、これにて平成 28 年第 1 回飯能市郷土館協議会を終了いたします。</p> <p style="text-align: right;">正午 12 時 00 分 閉会</p>

議事のでん末、概要を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名します。

平成 年 月 日

議長 の 署名 _____